

登録コード	MA780400	開講年度	2026			
授業科目名	精神作業療法学特論				担当教員	杉山 暢宏 他
英文授業名	Special Lectures in Occupational Therapy in Mental Health				副担当	寺田 信生・田中 佐千恵
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・7時限	対象専攻 / 学年
講義室	保健学科 1 1 1 講義室		授業形態	講義	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)					
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。				精神保健・リハビリテーション領域の課題を理解し、研究計画の策定に活用できるようになる。	
(2)授業の概要	精神障害のリハビリテーションにおいて効果が検証されている介入プログラムについて学習し、支援技術について理解を深める。精神保健医療福祉領域の課題を理解し、その解決に向けた臨床実践と研究活動の動向を把握する。自身の研究テーマに関連する最新情報を入手し、研究計画の準備を進める。					
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	1）精神保健に関連する情報収集能力と分析能力を高める 2）地域生活移行支援の方法論を理解する 3）就労支援の方法論を理解する 4）家族心理教育プログラムの実践方法を学ぶ 5）精神保健に関する情報発信能力を高める					
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	1）精神保健領域のEBPとフィデリティ測定を説明できる 2）ACT・FPE・IPS・IMRの実践方法を説明できる 3）精神保健医療福祉の課題とその解決方法について議論できる					
(5)授業計画	日時は受講学生と検討のうえ決定する 第1－2回 心理社会的リハビリテーションの潮流（田中） 第3－4回 精神科リハのEBPプログラム（田中） 第5－7回 認知リハビリテーション（田中） 第8－9回 統合失調症治療のトレンド（杉山） 第10－11回 気分障害治療のトレンド（杉山） 第12－13回 大人の発達障害（杉山） 第14－15回 精神保健医療福祉の研究課題（杉山・田中） 第16回 予備日					
(6)授業の進め方	講義，演習 開講日時は受講学生と検討のうえ決定する。 毎回の授業内容で教科書や資料で予習しておくべき箇所を指定する。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	心理社会的リハビリテーション，精神科リハビリテーションのEBPプログラム，認知リハビリテーション，統合失調症治療のトレンド，気分障害治療のトレンド，アンガーマネジメントについて，毎回の授業前に資料をeALPSに掲載する。 資料を予め入手し，予習・復習に活用してください。					
(8)成績評価の方法	第14と第15回の精神保健医療福祉の研究課題では、グループディスカッションと口頭試問を行います。その際に授業の理解度と、各自の行う研究計画に関連する質疑応答を実施し、学習成果を100点満点で評価します。 授業の理解度、質疑応答のいずれにおいても総合点の60%以上を合格とする。					
(9)成績評価の基準	心理社会的リハビリテーションの変遷が説明できれば「水準にある(可)」，加えてEBPプログラムの概要が説明できれば「やや上にある(良)」，精神医療・福祉の課題解決に向けた方法論を具体的に説明できれば「かなり上にある(優)」，以上の内容を踏まえた自身の研究計画書が説明できれば「卓越している(秀)」と評価します。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	DVD教材等を取り入れ，最新の実践に即した内容を工夫する。 相談等は，メールにて以下のアドレスに連絡してください。 杉山暢宏 nsugi@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー 木曜日 12：00－13：00 保健学科南校舎2F 杉山暢宏 研究室					
【テキスト，教材，参考書】	日本精神科リハビリテーション学会（監訳）：EBPツールキットシリーズ． その他，適宜紹介する。					